

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和7年1月1日～令和7年10月13日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 7 年	337	42	5	164	160	371
令 和 6 年	285	42	2	132	135	311
前 年 同 期 比	52	0	3	32	25	60

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	68	20.2%	10	0	34	30	74
	後立山	86	25.5%	8	1	37	56	102
	その他	55	16.3%	1	0	36	24	61
計		209	62.0%	19	1	107	110	237
中央アルプス		24	7.1%	6	1	10	9	26
南アルプス		11	3.3%	0	2	8	1	11
八ヶ岳連峰		32	9.5%	3	0	18	12	33
その他の山岳		61	18.1%	14	1	21	28	64
計		337		42	5	164	160	371

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	90	26.7%	25	0	67	0	92
転 倒	84	24.9%	1	0	83	0	84
病 気	24	7.1%	5	0	0	19	24
道 迷 い	33	9.8%	0	0	0	50	50
落 石	7	2.1%	0	0	7	0	7
雪 崩	2	0.6%	1	0	1	1	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	55	16.3%	2	0	0	57	59
不明・他	42	12.5%	8	5	6	33	52
計	337		42	5	164	160	371

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	7	7	44 17.2%	0	0	1	0	1	18 15.7%	8	62 16.7%
20代	1	0	4	17	22		0	0	1	5	6		28	
30代	4	1	3	7	15		0	0	3	8	11		26	
40代	5	1	13	14	33	85 33.2%	1	0	16	3	20	46 40.0%	53	131 35.3%
50代	7	0	21	24	52		1	0	19	6	26		78	
60代	9	2	31	26	68	127 49.6%	0	0	20	8	28	51 44.3%	96	178 48.0%
70以上	14	1	18	26	59		0	0	14	9	23		82	
計	40	5	90	121	256		2	0	74	39	115		371	
比 率	69.0%						31.0%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（10/6～10/13）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
10月6日	北アルプス 横尾谷	女	80	負傷	転倒	2人パーティで涸沢から横尾に向けて下山中、転倒、負傷
10月6日	北アルプス 乗鞍岳	男	59	負傷	転倒	単独で剣ヶ峰から畳平に向けて下山中、転倒、負傷
10月6日	松本市波田地籍 の山林内	男	82	負傷	滑落	単独できのこ採りに入山し、滑落、負傷
10月9日	中央アルプス 千畳敷	男	69	無事救出	疲労	2人パーティで千畳敷を下山中、疲労により、行動不能
10月10日	北アルプス 白馬乗鞍岳	男	80	無事救出	疲労	2人パーティで白馬大池からの下山中、疲労により、行動不能
10月10日	戸隠連峰 戸隠山西岳	女	61	負傷	滑落	2人パーティで鏡池登山口から西岳に向けて登山中、バランスを崩して、滑落、負傷
10月10日	戸隠連峰 戸隠山西岳	男	66	無事救出	その他	上記遭難者の同行者、技量不足により、行動不能
10月11日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	62	無事救出	その他	単独で常念岳から蝶ヶ岳に向けて縦走中、悪天候により、行動不能
10月11日	北アルプス 燕岳	男	84	無事救出	疲労	3人パーティで燕岳から中房登山口に向けて下山中、疲労により、行動不能
10月12日	松本市安曇地籍 の山林内	男	85	死亡	滑落	3人パーティできのこ採りに入山し、滑落
10月12日	北アルプス 白馬岳	男	19	無事救出	道迷い	2人パーティで猿倉登山口から白馬岳に向けて大雪渓を登山中、道に迷い、行動不能
		男	17	無事救出	道迷い	
10月12日	北アルプス 前穂高岳	女	64	負傷	滑落	2人パーティで前穂高岳から岳沢に向けて下山中、滑落、負傷

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、**1件の死亡遭難**を含む、**12件の山岳遭難**が発生しました。

北アルプス白馬岳で発生した道迷い遭難は、通行止めとなっている大雪渓に入山した結果、登山道を外れ、下山することも登ることもできずに行動不能となったものです。遭難者は、その場でビバークし、翌日、救助隊によって救助されました。幸い怪我はありませんでしたが、猿倉登山口から白馬岳へのルートは先月の9月29日（月）から既に通行止めになっており、登山計画の下調べが不足していたと言わざるを得ません。

入山前の下調べはとても重要であり、入山してから「知らなかった」では、命取りになる可能性もあります。特に、これからの季節は北アルプスの山小屋の多くが営業を終え、環境的に厳しい時期を迎えるため、登山計画の下調べをしっかりと行った上で、入山しましょう。

また、きのこ採り遭難も**2件**発生し、滑落による死亡遭難が発生しています。きのこ採りは、高齢の方が多く遭難しています。家族の一言で防げる遭難も多くあります。もし、ご家族にきのこ採りをする方がいる場合には、

- ・**単独入山・単独行動は控えること**
- ・**入山場所と予定を必ず共有すること**
- ・**万が一に備え、携帯電話やヘッドライト、防寒着等必ず携行すること**

を伝えてください。